

バイオマス取組事例概要

《バイオマス活用協議会会長賞》

- ・応募主体 富山グリーンフードリサイクル株式会社
- ・都道府県・市町村 富山県富山市
- ・取組分野 バイオガス発電、堆肥

取組概要

メタン発酵処理によるバイオガス化及び土壌改良材の製造。

富山市が進めるエコタウン事業の拠点であるエコ産業団地の第1期事業として、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設として整備された。

富山市広域圏の食品関連業者から排出される事業系生ごみと富山市近隣の食品製造業者から排出される有機性の食品製造副産物を対象として、メタン発酵技術によるエネルギー変換を行うサーマルリサイクル事業に取り組んでいる。

また、メタン発酵液と余剰エネルギーを利用して、富山市広域圏の剪定枝、刈草を良質な有機肥料にする堆肥事業にも取り組んでいる。

富山グリーンフードリサイクル株式会社は、富山市における大手の一般廃棄物収集運搬業者、産業廃棄物処理業者、排出側として弁当業者、蒲鉾業者、酒造業者、造園業者、海産物業者やプラントメーカー12社の共同出資により設立されており、これらの企業が連携して収集、運搬、維持管理・運営を行っている。



ガス発電機

食品廃棄物をメタン発酵し、発生したメタンガスを利用して発電。電力は自己施設で使用し、余剰分は隣接工場へ供給。発酵液は、一部を堆肥化施設にて使用、余剰分は排水処理を行い下水道へ放流。



堆肥化施設(発酵槽)

前処理工程により粉碎された剪定枝・刈草、メタン発酵工程からの発酵液を混合し、堆肥化。